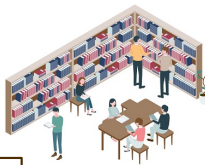


●鎌倉の未来を守り創る『鎌倉市本庁舎等整備事業』

※市役所の位置については条例で定めると規定されており、議会の議決（特別多数（出席議員の3分の2以上）の議決）が必要です。

新庁舎整備

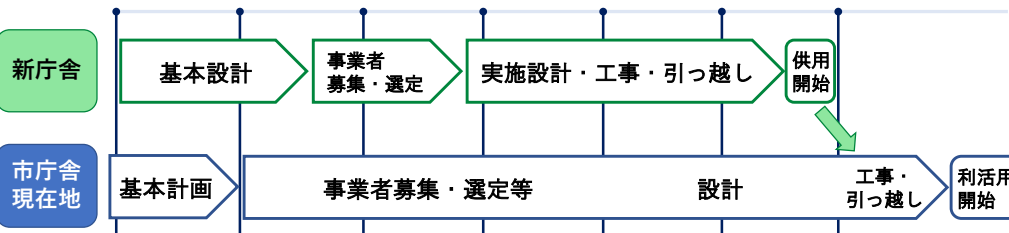
築50年を経過し老朽化が進む市役所本庁舎について、新しい市役所本庁舎はユニバーサルデザインやバリアフリーに配慮した、誰もが使いやすい空間になるとともに、市民利用スペースを拡充し、より市民の皆様に使っていただける、新たな交流が生まれる場所に生まれ変わります。



市庁舎現在地活用

現在市役所がある場所は、サービスを低下させないよう、よくご利用いただく行政サービスの機能を維持しつつ、中央図書館、生涯学習センターの一部機能を再整備し、民間機能も加えながら、より市民の皆様にご利用いただける、賑わいや憩い、交流の拠点として生まれ変わることを計画しています。

令和5年度 (2023年度) 令和6年度 (2024年度) 令和7年度 (2025年度) 令和8年度 (2026年度) 令和9年度 (2027年度) 令和10年度 (2028年度) 令和11年度 (2029年度)



グリーン&ガーデニング大作戦

毎月第3土曜日の7時30分～8時30分

腰越駅集合(雨天中止)

腰越駅周辺・腰越海岸の清掃と雑草の手入れを行います。終了後、意見交換会も行っております。



☆スケジュール☆

第116回:11月19日

第117回:12月17日

第118回:1月21日

第119回:2月18日



ひなた新聞 50号



鎌倉市議会議員

ひなた慎吾 活動レポート



1983年6月9日 生まれ (39歳)

モンタナ幼稚園→腰越小学校→腰越中学校→鎌倉高校
→日本大学卒業

IT企業へ就職後、2013年29歳で鎌倉市議会議員初当選。

2017年2期目の当選。2021年3期目の当選。腰越在住。

〈現在〉会派「夢みらい鎌倉」代表・市民環境常任委員会委員

新庁舎等整備に関する調査特別委員会委員長



●新庁舎等整備に関する調査特別委員会設置。委員長に就任

9月下旬に「新庁舎等整備基本計画」及び「市庁舎現在地利活用基本構想」が策定されました。これまで議会の様々な場面で議論や報告を受けてまいりましたが、全市的な問題である新庁舎等の整備に関し、議会全体として受け止め、より丁寧かつ慎重な調査及び検討を行うため特別委員会を設置しました。私は委員長に選任され就任いたしました。各議員からの意見を踏まえ内容を精査し、執行部と議論してまいります。

新庁舎等整備に関する調査特別委員会

(委員長) 日向慎吾	(副委員長) 中村聡一郎	中里成光
岡田和則	児玉文彦	保坂令子
吉岡和江	竹田ゆかり	森功一

住所: 鎌倉市腰越 3-23-7 連絡先: 0467-32-5889

ホームページ: <http://www.hinata-kamakura.com/>

ブログ: <http://www.hinata-kamakura.com/blog/>

メール: hinata.shingo@gmail.com フェイスブック: 日向慎吾

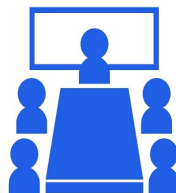
ツイッター: @HinataShingo インスタグラム: hinata.shingo



討議資料

●一般会計歳入歳出決算等審査特別委員会

9月定例会では、令和3年度の決算等の認定の議案があり、私は会派を代表し特別委員会委員となり審査しました。委員全員が一致し委員長報告に盛り込んだ意見と会派として審査の過程で述べた意見を抜粋して記載いたします。



委員長報告

河川の維持補修

河川は生活に身近で、多様な生物が生息する貴重な自然環境であることから、維持管理が必要な箇所を把握し、河川内の除草や堆積した土砂を取り除いたりするなど、定期的な維持管理を求める。

障害児保育の体制充実

適切な障害児保育を行うためには、保育士の人数を増やす必要があるが、現行の補助制度は十分ではなく、障害児の適切な成長を保障するためにも、補助金の増額や保育士の障害児保育のスキルを高める対応を求める。

日本遺産事業について

平成28年4月に認定された日本遺産『「いざ、鎌倉」～歴史と文化が描くモザイク画のまちへ～』について、令和4年に文化庁により再審査を行うこととされました。この結果を踏まえ、観光振興のみならず、歴史まちづくりの推進の観点へと視点を広げ、担当部署を横断的に拡大した取組を行うことを求める。

会派意見

テクノロジーを活用し、市民サービスの向上へ

電子申請やRPA(※)など、ICTを活用した取組を行っていますが、多様な働き方を実践していくためにも、事業を推進していき、市民に寄り添いながらテクノロジーを活用し、より一層の市民サービスの向上に努めることを求めました。※RPA:ロボットによる業務自動化



高齢者活動支援と福寿優待サービスの拡充

高齢者入浴助成事業はニーズがあることは認識しておりますが、入浴助成に限らず一定の助成額の中で助成メニューを増やし、利用者が選択できる活動支援サービスを求めるとともに、福寿優待サービス事業の協賛店舗の拡大に積極的に取り組むことを求めました。



AED 設置場所の情報を共有

公共施設等にAEDを設置していますが、どこに設置しているのかを緊急時に慌てないで判断できるようにすることが大切です。AEDマップをホームページに掲載されていますが、さらに広報を充実させて市民に伝える取り組みを求めました。



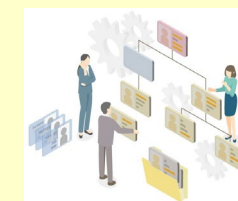
危険ブロック塀の改善について

いつ起きるかわからない自然災害の発生を防ぐことはできませんが、防災・減災対策として、補助制度の周知や倒壊を未然に防ぐために所有者にご理解をいただき、改善率を上げていくことで、災害に強いまちとなることを求めました。



市役所職員の人事評価について

コロナ禍において、他部署の応援に入り兼務するなど、多岐にわたる業務を行っていただいております。専門性や多様な能力・経験が必要であるため、研修や資格取得奨励金等を実施されておりますが、成果を出した部署や職員を評価する人事評価制度の構築を求めました。



●できることから協力して未来へつなぐ

海洋プラスチックごみについて、陸や川を通じて海へ流出している現状からも広域で考えていくべきと取り組んでまいりましたが、10月24日～11月3日に『かまくらプラごみゼロウィーク』が実施されました。「マイクロプラスチックを拾うビーチクリーン」「子ども向けワークショップ」「量り売りサステナマルシェ」「図書館展示」「パネル展示」などの取組が行われました。

ビーチクリーンに参加

